

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

ITパスポート試験 平成23年度秋期試験の出題傾向分析について
および 当社テキストラインアップと今後の提供予定について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。
 10月16日(日)に実施されましたITパスポート試験・平成23年度秋期試験の出題傾向を分析いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。
 また、当社テキストのラインアップについても、併せてご紹介いたします。

記

1. 出題傾向

今回の秋期試験のカテゴリ別、問題形式別の出題傾向は次のとおりです。

※参考までに直近3回分の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	出題数			
		H22 春	H22 秋	H23 特	H23 秋
ストラテジ系	企業と法務	13 問	16 問	17 問	15 問
	経営戦略	12 問	10 問	12 問	13 問
	システム戦略	10 問	9 問	6 問	7 問
ストラテジ系小計		35 問	35 問	35 問	35 問
マネジメント系	開発技術	9 問	11 問	11 問	8 問
	プロジェクトマネジメント	7 問	6 問	5 問	6 問
	サービスマネジメント	9 問	8 問	9 問	11 問
マネジメント系小計		25 問	25 問	25 問	25 問
テクノロジー系	基礎理論	12 問	12 問	6 問	9 問
	コンピュータシステム	9 問	9 問	14 問	10 問
	技術要素	19 問	19 問	20 問	21 問
テクノロジー系小計		40 問	40 問	40 問	40 問
全合計		100 問	100 問	100 問	100 問

●問題形式別

問題形式		出題数			
		H22 春	H22 秋	H23 特	H23 秋
用語	用語の説明や関連する用語を選択する問題	30 問	41 問	18 問	33 問
事例	具体的な事例に基づいて解答する問題	50 問	42 問	71 問	52 問
計算	数値や計算式を求める問題	16 問	12 問	10 問	14 問
表計算	表計算ソフトの利用が問われる問題	1 問	1 問	0 問	1 問
データベース	データベースの構築が問われる問題	3 問	4 問	1 問	0 問
合 計		100 問	100 問	100 問	100 問

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 試験分析

今後は CBT 試験に移行されるため、今回が最後の筆記試験となりました。そのため、駆け込み受験が予想されましたが、応募者数は前回、前々回の秋期試験を大幅に下回りました。震災の影響により、7月に特別試験が行われたばかりだったためと思われます。

年度	春期	秋期	年間合計
H21 年度	46,845 名	71,856 名	118,701 名
H22 年度	63,680 名	71,574 名	135,254 名
H23 年度	(特) 61,984 名	55,569 名	117,553 名

IT パスポート試験がスタートして今回で 6 回目となりますが、難易度は 3 回目以降、ほぼ安定しています。今回の試験の難易度は、3 回目、4 回目と同程度でした。

回数	試験	難易度	合格率
1 回目	H21 春	非常に易しい	72.9%
2 回目	H21 秋	難しい	50.7%
3 回目	H22 春	1 回目より難しく、2 回目より易しい	42.3%
4 回目	H22 秋	3 回目と同程度	51.9%
5 回目	H23 特	やや難しい	44.8%
6 回目	H23 秋	3 回目、4 回目と同程度	未公開

※得点調整あり

カテゴリ別に見ると、ほぼ例年通りの出題比率といえます。シラバスに沿って、広範囲から万遍なく出題される傾向はこれまでと同じです。

問題形式別にみると、用語の意味を問う問題が増え、具体的な事例に基づいて考える問題が減っています。用語の意味をしっかりと覚えていれば、実務経験がなくても解答できるという点では、前回の試験より易しいといえるでしょう。

また、シラバスに記載されていない内容が 1～2 割程度出題される傾向も、これまでと同じです。

今回の試験では、「OJT」「VPN」「オピニオンリーダー」「クロスライセンス」など、シラバスに掲載がない内容が出題されています。

中間については、次のような印象です。

【中間 A】

アルゴリズムを問う新しい傾向の問題で、考察に時間を要したと考えられます。

【中間 B】

与えられた条件に基づき、計算する問題が 2 問含まれます。条件を読み漏らすことなく、正確に算出する必要があり、やや難しいといえるでしょう。

【中間 C】

実務経験がなくてもビジネスシーンをイメージしやすい問題で、易しいといえるでしょう。

IT パスポート試験は、今後 CBT 試験に移行されますが、その際には採点方式が変更となります。

CBT 試験の導入前は 1 問 10 点×100 問の 1,000 点満点ですが、CBT 試験の導入後は「IRT (Item Response Theory)」と呼ばれる方式で評価されます。IRT とは、複数の受験者がそれぞれ異なる問題で受験した場合でも、受験者の能力を同一の尺度で判定できる採点方式です。

具体的な採点方式については公開されていませんが、問題の難易度に応じて配点が異なると考えられます。つまり、難しい問題は得点が高く、易しい問題は得点が低くなるということです。

応用力を必要とする事例や計算の問題は、高得点が稼げると考えられるので、これらの対策を万全にしたところが必要です。できるだけ多くの問題パターンに触れ、解法のコツなどをつかんでおきましょう。

3. 今後の当社テキストのラインアップについて

下記のとおり、IT パスポート試験対策教材をご提供いたします。

No.	教材名	説明	提供時期
①	IT パスポート試験 対策テキスト CBT 試験対応 型番:FPT1111 価格:2,200 円(税別)	シラバスにそって必要な知識を解説する教科書兼参考書。 本番さながらの CBT 試験を体験できる「過去問題プログラム」 を添付しています。プログラムには、H21 春/H21 秋/H22 春 /H22 秋の 4 回分の過去問題を収録。 ※H23 特/H23 秋は収録していないので、ご注意ください。	好評 発売中!
②	IT パスポート試験 直前対策 1 週間完全プログラム CBT 試験対応 型番:FPT1121 価格:1,200 円(税別)	シラバスに記載されている用語をすべて解説した用語集。 次の 3 つの内容を追加して提供しています。 ・付録 1 CBT 試験とは ・付録 2 覚えておきたい新出用語 ・付録 3 覚えておきたい頻出計算式	好評 発売中!
③	IT パスポート試験 書いて覚える学習ドリル CBT 試験対応 型番:FPT1120 価格:1,000 円(税別)	シラバスに記載されている用語を書いて覚える形式の学習帳。 次の 3 つの内容を追加して提供しています。 ・参考学習 1 覚えておきたい新出用語 ・参考学習 2 覚えておきたい頻出計算式 ・付録 CBT 試験とは	平成 23 年 11 月予定

以上